

【冬芝ライグラスオーバーシード作業要領 50 m²モデル】

ライグラスオーバーシード（ウィンタートランジッション）

風のない日に 大雨の予報のない時に

1. 播種量：オーバーシードは30g～50g/m²（使用頻度により）
例) 40g/m²×50 m²=2kg
2. 播種時期：発芽適温 18℃～22℃ 農業では昔から“彼岸に播け”と言う。
10月（毎年の残暑により差がある）
3. 播き方のコツ（手順、要領）
 - (1) 現在の芝生、またはイワダレソウを可能な限り刈り取る。
芝刈機によるが床地が見える程度でも可。
 - (2) 種子を計量：手直し追播用に少し残して保管。
35g/m²×50 m²=1.75kg（0.25kg 残す）
 - (3) 増量材で増量する。1 m²に35g 均等に播くのは至難のため、ピートモス、バーク堆肥など
種子と比重の近いもので約100倍≒200リットルに増量してよく混ぜる。
ピートモス、発芽促進剤等を調合した増量材(種子と同額で販売中)
(特に100倍にこだわる必要なく、10倍でも50倍でも蒔きやすいように増量)
※目的：保湿、発芽率アップ、色付けにより均一作業がしやすい。
 - (4) これをタテ、ヨコ、斜め“少量多数回数”で均一に。指間から肩高辺りから。
 - (5) 覆土：3～5mm厚 砂、マサ土等で目土。保水、発芽促進、種のズレ流亡防止。
 - (6) 散水：シャワー状に優しく、鉄砲水で種子や覆土をズラさない。
 - (7) 発芽まで5日→新芽の2週間毎日1～2回散水、湿状態を維持する。
 - (8) 3週間位で30mm～50mm高になり、40mm↓35mm↓30mm↓と刈る毎に刈高を下げる。
※当分の間 現存の芝、イワダレソウと混在し、寒くなれば休眠、ライグラスのみとなる。
※芝刈り機で刈込むと若い葉は、引き抜かれるので手刈りで頭をカット、広範囲の場合
50mmまで伸ばしてから芝刈り機で少しずつ刈込、数回で立派な葉に成長。

<注>

- ① 大面積の場合は、床地にバーチカル筋を入れて種子のズレ止め、目土の節約乾燥防止等を行うことがある。
- ② 大面積の播種器で均等播種を行うが、今回不要。
- ③ 計画地以外に種が飛ばないように、フィルムシート、コンパネ、段ボール等で境界養生する。
- ④ 新芽に対する初期の肥料は、肥料あたりの暖かい液肥を与える。(1回目刈込後で良い)
(#2号、1号他メネデール等)市販のものです。
- ⑤ 発芽不十分、ムラに対し同要領で追い播きする。

株式会社芝匠

<http://www.shibafuya.com>